

週報

国際ロータリー第 2660 地区

令和 6 年 6 月 25 日

第 3016 例会

第 2610 号



世界に希望を生み出そう

豊中ロータリークラブ

広めよう ロータリーの心 地域とともに

創立 1959 年 6 月 16 日

2023.7~2024.6

会 長 宮田幹二
副 会 長 武枝敏之
幹 事 原 和永
雑誌・広報・会報委員長
村司辰朗

2023~24 年度

国際ロータリー会長

ゴードン R. マツキナリー

(South Queensferry RC)

Rotary



Toyonaka

本日（6月25日）のプログラム

「一年を振り返って」

会 長：宮田 幹二

幹 事：原 和永



次回（7月2日）のプログラム

「新年度運営方針」

会 長：眞下 節

副会長：村司辰朗

幹 事：米田 眞

会長の時間

「おわりに：コロナ禍後の RC 活動」

2023-24 年度 会長 宮田幹二

昨年春に、幸いコロナ禍は終息し、日常生活はもどりました。しかし、様々な内圧と外圧により、日本は大きく変動せざるを得ない状況にあり、日本の RC 活動はどのように変化するのでしょうか。

(1) DEI (多様性・公平さ・インクルージョン)：日本社会に広く浸透すると、日本国憲法の理念が空想ではなく、現実になります。私の小中高時代には、憲法は理想と言われ、現実との乖離に失望したものです。国際的な外圧により、日本の RC は DEI の牽引役になっていかざるを得ないでしょう。

(2) 高齢化：医療における科学技術の進歩は、老化による生命の限界を次第に取り払っています。高齢者の人間力は、体力・精神力・経済力などに応じて非常に多種多様です。人生の充実感や満足度は、益々個性化し、多種多様になるでしょう。RC 活動もそれに対応せざるを得ないでしょう。

(3) 少子化：コロナ禍後も少子化は止まりません。子育て支援・働き方改革など、多種多様な政策が実を結び、男女平等が社会の到る所で実現するまで、続きそうです。子育て世代が日本の RC 活動に参加するのは、不可能でしょうか、夢に過ぎないでしょうか。

(4) デジタル化と生成 AI：奉仕活動にもクラウドファンディングが生まれ、寄付者はその成果を容易に見届ける時代です。豊中 RC は、奉仕活動の内容・参加法・成果などを広く社会に公開して、共感する仲間を増やすことができるでしょうか。

この一年、奉仕活動は順調に進みました。皆様の熱意ある諸活動に敬意を抱き、感謝致します。

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

事務局・例会場：〒560-0021 豊中市本町 3 丁目 1 番 16 号 ホテル アイボリー内

TEL 06-6858-1551 FAX 06-6857-0011

例 会 日 時：毎週火曜日 12 時 30 分より

事 務 局：9 時~15 時(土日祝を除く)

H P ア ド レ ス：www.sun-inet.or.jp/~jtrc2660/

メー ル ア ド レ ス：jtrc2660@sun-inet.or.jp

☆出席報告☆

	第3015回	第3012回
例会日	6月15日	5月28日
① 会員数 A	30	30
(内出席免除者)	6	6
② 出席義務者数	24	24
③ 出席義務者出席数	13	16
④ 出席免除者出席数	3	2
⑤ メイクアップ数		2
⑥ 出席義務者欠席数	11	8
出席率 %	59.26%	76.92%

出席率 (3015回) ③+④/②+④ 出席率 (3012回) ③+④+⑤/②+④

幹事報告

・国際ロータリー第2660地区より

「【ご案内】ローターアクト 24-25年度 第1回地区献血」が届きました。

・(公財)ロータリー米山記念奨学会より

「ハイライトよねやま 291」が届きました。

▼全文は、こちらよりご覧ください。

<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/content/uploads/summary/highlight291.pdf>

掲示板

・一年を振り返っての卓話 会長・幹事

日時：2024年6月25日(火) 本日例会時
場所：ホテルアイボリー 例会場

・ニコニコクイズ

日時：2024年6月25日(火) 本日例会時
場所：ホテルアイボリー 例会場

・2024-25年度第一回定例理事会

日時：2024年7月2日(火) 例会終了後
場所：ホテルアイボリー3F 例会場前

・新年度運営方針 会長・副会長・幹事

日時：2024年7月2日(火) 例会時
場所：ホテルアイボリー1F かやの間

・新年度運営方針

職業・社会・国際・青少年各奉仕委員長

日時：2024年7月9日(火) 例会時
場所：ホテルアイボリー1F かやの間

・IM第1組 会長・幹事会

日時：2024年7月10日(水) 16:00~19:00
場所：ヒルトンホテル大阪

😊6月11日のニコニコ箱報告😊

- ・創立記念日のために 宮田会員
- ・近藤新会員宜しくお祝い致します。 宮田会員
- ・誕生日祝いを頂いて 松尾会員

- ・創立記念日おめでとうございます。

村司、米田、矢口、横田、佐川、松山、松尾
武枝、眞下、岩本、原、船橋各会員



😊6月15日のニコニコ箱報告😊

- ・創立記念日おめでとうございます。

篠原、狩野各元会員

木村、北村各名誉会員

矢野、田畑、松本悟、近藤各会員

♪本日の唱歌♪

奉仕の理想

作詞：前田和一郎

作曲：萩原英一

奉仕の理想に集いし友よ
御国に捧げん我等の業(なりわい)
望むは世界の久遠(くおん)の平和
めぐる歯車いや輝きて
永久(とわ)に栄えよ
我等のロータリー
ロータリー



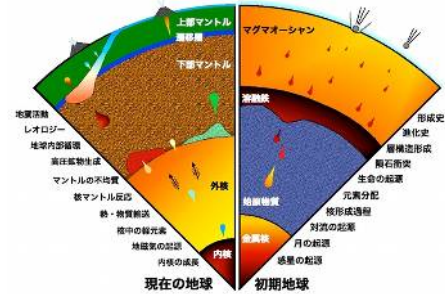
唱歌担当：横田広司

「地球深部物質と形成期の再現実験」

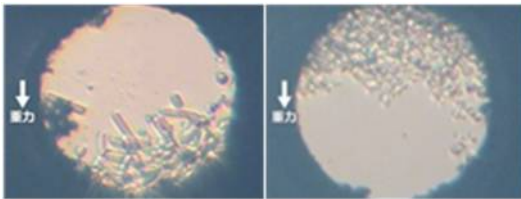


卓話担当:近藤 忠

私どもの研究室では、地球・惑星・衛星の深部構造と、その進化過程の解明を目指して、地球表層環境とは大きく異なる条件で起こる物質の変化を調べている。惑星深部に相当する高温高压条件から、形成時の衝突現象や分化過程も重要な研究対象としている(右図)。



近年、興味を持っている研究対象として、様々な宇宙探査機の観測から内部に液体水(内部海)を持つとされる氷衛星である。太陽系内に地球以外の天体が液体水を持つこと自体が大きな発見であるが、その内部進化過程に関しては、よく分かっていない点も多い。実験はダイヤモンドアンビルセルと呼ばれる高压力下の試料を直接観察できる小型高压力発生装置を用い、圧力下(衛星深部)の水溶液から析出する固体相を調べると



(左図は硫酸塩水溶液の例)、内部海で沈む固体相と、浮く固体相があることがわかってきた。これらは氷衛星内部の層構造形成に重要な役割を果たしていると考えられる。

もう一つ興味を持っている研究が、地球形成期における衝突破壊現象の再現実験である。大阪大学には高エネルギー密度状態を発生できるレーザー科学研究所があり、地球脱出速度(秒速 10km 程度)に相当する衝突現象を模擬できる、国内唯一の実験施設がある。我々は通常の衝突模擬実験では破壊・飛散する衝撃試料を、元の位置情報を残したまま全回収する技術を開発した。右図は3mm のカンラン石を上部からレーザーで衝撃を与えた回収試料の薄片写真で、上部衝突点からの様々な変成度の異なる試料に対して、深さ方向の変成度を連続的に評価する手法が検討できるようになってきた。地球に届く隕石中に含まれる衝撃変成鉱物の起源となった現象を解き明かせると考えている。これらの研究について紹介させていただきたい。

